

開講年度	2021年度	開講学期	1Q
科目名	工学院大スタディーズ	授業種別	講義
科目名 (英語)	Start-up Seminar at KogakuinUniversity		
授業コード・クラス名	A1100295 工学院大スタディーズ 【D E F】 [対面+]		
担当教員	二上 武生、林 真理、尾高 進、影井 良貴		
単位数	1.0単位	曜日時限	月曜1限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	1N-338講義室

学位授与の方針	1 基礎知識の修得 10% 2 専門分野の知識・専門技術の修得 0% 3 汎用的問題解決力の修得 30% 4 道徳的態度と社会性の修得 60%
具体的な到達目標	1. 工学院大学生としての誇りを持ち、責任を自覚できるようになる。 2. 人の文章の盗用 (コピペ) など、不正にくみしないモラルを身につける。 3. 工学院大学の歴史や理念を通して、広い視野と知識を獲得する。 4. 将来社会で活躍するためにはいま何が必要なのか、大学生活をどのように過ごすか、自らを省みる。
受講にあたっての前提条件	工学院大学で学ぶ意志のあること。決められたクラスで受講すること。
授業の方法とねらい	<p><授業のねらい></p> <p>工学院大生として、工学院大学のこと、大学生活のことを知り、自分のことを知って、これからの大学生活について考える。</p> <p>工学院大学はどのような大学であり、どのようなことを学べるのか、そして大学側は学生たちに何を期待しているのか、大学生活を過ごすうえで必要なことは何かを理解し、大学で何を学び、大学生活をとおして自分がどうなりたいかを考えるきっかけとする。</p> <p>また、授業をとおして工学院大学の建学の精神 (「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」) とはどのようなことを考える。</p> <p>そして超スマート社会「Society 5.0」を見据えて、将来の自分のキャリアイメージを鮮明にする。</p> <p><授業の方法></p> <p>本授業は今後のDX (Digital Transformation) 時代をにらみ、BYOD (Bring Your Own Device) を活用した教育手法を積極的にとり入れた授業です。</p> <p>具体的には「対面コミュニケーション」の他に「オンラインによるコミュニケーション」、オンラインコミュニケーションにおいて「オンライン掲示板機能による意見共有」等、様々なコミュニケーション形態を体験してもらいます。</p> <p>対面授業の中でも、ノートPC、スマートフォン等の情報端末を用いてオンライン操作を行う場合があります。</p> <p>履修者をAグループとBグループに分け、対面授業とオンライン授業をあわせたブレンド型授業を実施します。</p> <p>-----</p> <p>第1回授業については以下資料を確認してください。 https://drive.google.com/file/d/19RVUqRhom1xoy3lCln18NXt0ViWTx_we/view?usp=sharing -----</p> <p>※授業内容のテーマややり方は変更する場合があります。詳しくは授業の中で説明します。</p>
AL・ICT活用	反転授業／クリッカー・タブレット等ICTを活用した双方向授業／e-ラーニング等ICTを活用した自主学習支援

第1回		
事前学習	・シラバスをよく読む	0.5時間
授業内容	遠隔／【授業ガイダンス】授業の説明 学長メッセージ「超スマート社会「Society 5.0」を生きる君たちへ」(仮題)を紹介する。 「キャリアデザインノート」「工学院大学 学園の歩み」を配布し、授業の目的や「キャリアプランニング」について説明する。	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第2回		
授業内容	対面or遠隔／【工学院大学の理解】特別講義 工学院大学卒業生による特別講義を予定。	

事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「工学院大学 学園の歩み」を読む	1時間
第3回		
授業内容	遠隔／【工学院大学の理解】工学院の歴史	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・情報セキュリティ事前学習教材を視聴する	1.5時間
第4回		
授業内容	対面／【アカデミックマナーの理解】情報セキュリティ	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第5回		
授業内容	遠隔／【アカデミックマナーの理解】研究倫理	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「キャリアプラン」を考える	1時間
第6回		
授業内容	対面／【自己理解】キャリアプランニング	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・汎用的問題解決力アセスメント結果の確認と解説教材を視聴する	1.5時間
第7回		
授業内容	対面／【自己理解】汎用的問題解決力の自己確認（アセスメント結果の確認）	
事後学習	・授業内容を振り返る	1時間
成績評価の方法	授業内で確認テストおよびレポート試験を実施し、平常点と合算して成績評価を行います。A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とします。平常点と試験（確認テスト&記述式のレポート）の比率は、2：8。	
教科書	『キャリアデザインノート』および『工学院大学 学園の歩み』（125年史資料編編纂・学園史教材作成委員会編）を授業時に無償で配布します。	
参考書	特になし。	
オフィスアワー	授業後の教室にて。 （または「nikami@cc.kogakuin.ac.jp」宛に連絡ください）	
受講生へのメッセージ	工学院大学に様々な思い（期待や不安など）をもって入学してきたと思います。工学院大学のこと、大学生活のことを知り、今後の工学院大学での大学生活をより楽しく、充実したものにしてください。そして、卒業後、工学院大生であることの自信と誇りを持てる、そのような一歩を踏み出せるきっかけになることを期待します。	
実務家担当科目	実務家担当科目	
実務経験の内容	企業研修やキャリア事業における社会人や大学生のキャリア支援に関する経験をもとに、自律的にキャリアを考えるうえで必要な情報提供を行う。	
教職課程認定該当学科	該当なし	

開講年度	2021年度	開講学期	1Q
科目名	工学院大スタディーズ	授業種別	講義
科目名(英語)	Start-up Seminar at Kogakuin University		
授業コード・クラス名	A1100296 工学院大スタディーズ【ABC】[対面+]		
担当教員	二上 武生、林 真理、尾高 進、影井 良貴		
単位数	1.0単位	曜日時限	月曜2限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	1N-338講義室

学位授与の方針	<p>1 基礎知識の修得 10%</p> <p>2 専門分野の知識・専門技術の修得 0%</p> <p>3 汎用的問題解決力の修得 30%</p> <p>4 道徳的態度と社会性の修得 60%</p>
具体的な到達目標	<p>1. 工学院大学生としての誇りを持ち、責任を自覚できるようになる。</p> <p>2. 人の文章の盗用(コピペ)など、不正にくみしないモラルを身につける。</p> <p>3. 工学院大学の歴史や理念を通して、広い視野と知識を獲得する。</p> <p>4. 将来社会で活躍するためにはいま何が必要なのか、大学生活をどのように過ごすか、自らを省みる。</p>
受講にあたっての前提条件	工学院大学で学ぶ意志のあること。決められたクラスで受講すること。
授業の方法とねらい	<p><授業のねらい></p> <p>工学院大生として、工学院大学のこと、大学生活のことを知り、自分のことを知って、これからの大学生活について考える。</p> <p>工学院大学はどのような大学であり、どのようなことを学べるのか、そして大学側は学生たちに何を期待しているのか、大学生活を過ごすうえで必要なことは何かを理解し、大学で何を学び、大学生活をとおして自分がどうなりたいかを考えるきっかけとする。</p> <p>また、授業をとおして工学院大学の建学の精神(「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」とはどのようなことを考える。</p> <p>そして超スマート社会「Society 5.0」を見据えて、将来の自分のキャリアイメージを鮮明にする。</p> <p><授業の方法></p> <p>本授業は今後のDX(Digital Transformation)時代をにらみ、BYOD(Bring Your Own Device)を活用した教育手法を積極的にとり入れた授業です。</p> <p>具体的には「対面コミュニケーション」の他に「オンラインによるコミュニケーション」、オンラインコミュニケーションにおいて「オンライン掲示板機能による意見共有」等、様々なコミュニケーション形態を体験してもらいます。</p> <p>対面授業の中でも、ノートPC、スマートフォン等の情報端末を用いてオンライン操作を行う場合があります。</p> <p>履修者をAグループとBグループに分け、対面授業とオンライン授業をあわせたブレンド型授業を実施します。</p> <p>-----</p> <p>第1回授業については以下資料を確認してください。 https://drive.google.com/file/d/19RVUqRhom1xoy3lCln18NXt0ViWTx_we/view?usp=sharing -----</p> <p>※授業内容のテーマややり方は変更する場合があります。詳しくは授業の中で説明します。</p>
AL・ICT活用	反転授業/クリッカー・タブレット等ICTを活用した双方向授業/e-ラーニング等ICTを活用した自主学習支援

第1回		
事前学習	・シラバスをよく読む	0.5時間
授業内容	遠隔/【授業ガイダンス】授業の説明 学長メッセージ「超スマート社会「Society 5.0」を生きる君たちへ」(仮題)を紹介する。 「キャリアデザインノート」「工学院大学 学園の歩み」を配布し、授業の目的や「キャリアプランニング」について説明する。	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第2回		
授業内容	対面or遠隔/【工学院大学の理解】特別講義 工学院大学卒業生による特別講義を予定。	

事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「工学院大学 学園の歩み」を読む	1時間
第3回		
授業内容	遠隔／【工学院大学の理解】工学院の歴史	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・情報セキュリティ事前学習教材を視聴する	1.5時間
第4回		
授業内容	対面／【アカデミックマナーの理解】情報セキュリティ	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第5回		
授業内容	遠隔／【アカデミックマナーの理解】研究倫理	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「キャリアプラン」を考える	1時間
第6回		
授業内容	対面／【自己理解】キャリアプランニング	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・汎用的問題解決力アセスメント結果の確認と解説教材を視聴する	1.5時間
第7回		
授業内容	対面／【自己理解】汎用的問題解決力の自己確認（アセスメント結果の確認）	
事後学習	・授業内容を振り返る	1時間
成績評価の方法	授業内で確認テストおよびレポート試験を実施し、平常点と合算して成績評価を行います。A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とします。平常点と試験（確認テスト&記述式のレポート）の比率は、2：8。	
教科書	『キャリアデザインノート』および『工学院大学 学園の歩み』（125年史資料編編纂・学園史教材作成委員会編）を授業時に無償で配布します。	
参考書	特になし。	
オフィスアワー	授業後の教室にて。 （または「nikami@cc.kogakuin.ac.jp」宛に連絡ください）	
受講生へのメッセージ	工学院大学に様々な思い（期待や不安など）をもって入学してきたと思います。 工学院大学のこと、大学生活のことを知り、今後の工学院大学での大学生活をより楽しく、充実したものにしてください。 そして、卒業後、工学院大生であることの自信と誇りを持てる、そのような一歩を踏み出せるきっかけになることを期待します。	
実務家担当科目	実務家担当科目	
実務経験の内容	情報通信企業の情報セキュリティに関する研究部門・実務部門の経験がある教員が、情報セキュリティ対策立案の経験を活かし、情報セキュリティの概要について講義する。	
教職課程認定該当学科	該当なし	

開講年度	2021年度	開講学期	1Q
科目名	工学院大スタディーズ	授業種別	講義
科目名 (英語)	Start-up Seminar at KogakuinUniversity		
授業コード・クラス名	A1100297 工学院大スタディーズ [対面+]		
担当教員	二上 武生、林 真理、尾高 進、影井 良貴		
単位数	1.0単位	曜日時限	月曜3限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	1N-338講義室

学位授与の方針	1 基礎知識の修得 10% 2 専門分野の知識・専門技術の修得 0% 3 汎用的問題解決力の修得 30% 4 道徳的態度と社会性の修得 60%
具体的な到達目標	1. 工学院大学生としての誇りを持ち、責任を自覚できるようになる。 2. 人の文章の盗用 (コピペ) など、不正にくみしないモラルを身につける。 3. 工学院大学の歴史や理念を通して、広い視野と知識を獲得する。 4. 将来社会で活躍するためにはいま何が必要なのか、大学生活をどのように過ごすか、自らを省みる。
受講にあたっての前提条件	工学院大学で学ぶ意志のあること。決められたクラスで受講すること。
授業の方法とねらい	<p><授業のねらい></p> <p>工学院大生として、工学院大学のこと、大学生活のことを知り、自分のことを知って、これからの大学生活について考える。</p> <p>工学院大学はどのような大学であり、どのようなことを学べるのか、そして大学側は学生たちに何を期待しているのか、大学生活を過ごすうえで必要なことは何かを理解し、大学で何を学び、大学生活をとおして自分がどうなりたいかを考えるきっかけとする。</p> <p>また、授業をとおして工学院大学の建学の精神 (「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」) とはどのようなことを考える。</p> <p>そして超スマート社会「Society 5.0」を見据えて、将来の自分のキャリアイメージを鮮明にする。</p> <p><授業の方法></p> <p>本授業は今後のDX (Digital Transformation) 時代をにらみ、BYOD (Bring Your Own Device) を活用した教育手法を積極的にとり入れた授業です。</p> <p>具体的には「対面コミュニケーション」の他に「オンラインによるコミュニケーション」、オンラインコミュニケーションにおいて「オンライン掲示板機能による意見共有」等、様々なコミュニケーション形態を体験してもらいます。対面授業の中でも、ノートPC、スマートフォン等の情報端末を用いてオンライン操作を行う場合があります。</p> <p>履修者をAグループとBグループに分け、対面授業とオンライン授業をあわせたブレンド型授業を実施します。</p> <p>-----</p> <p>第1回授業については以下資料を確認してください。 https://drive.google.com/file/d/19RVUqRhom1xoy3lCln18NXt0ViWTx_we/view?usp=sharing -----</p> <p>※授業内容のテーマややり方は変更する場合があります。詳しくは授業の中で説明します。</p>
AL・ICT活用	反転授業/クリッカー・タブレット等ICTを活用した双方向授業/e-ラーニング等ICTを活用した自主学習支援

第1回		
事前学習	・シラバスをよく読む	0.5時間
授業内容	遠隔/【授業ガイダンス】授業の説明 学長メッセージ「超スマート社会「Society 5.0」を生きる君たちへ」(仮題)を紹介する。 「キャリアデザインノート」「工学院大学 学園の歩み」を配布し、授業の目的や「キャリアプランニング」について説明する。	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第2回		
授業内容	対面or遠隔/【工学院大学の理解】特別講義 工学院大学卒業生による特別講義を予定。	

事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「工学院大学 学園の歩み」を読む	1時間
第3回		
授業内容	遠隔／【工学院大学の理解】工学院の歴史	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・情報セキュリティ事前学習教材を視聴する	1.5時間
第4回		
授業内容	対面／【アカデミックマナーの理解】情報セキュリティ	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第5回		
授業内容	遠隔／【アカデミックマナーの理解】研究倫理	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「キャリアプラン」を考える	1時間
第6回		
授業内容	対面／【自己理解】キャリアプランニング	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・汎用的問題解決力アセスメント結果の確認と解説教材を視聴する	1.5時間
第7回		
授業内容	対面／【自己理解】汎用的問題解決力の自己確認（アセスメント結果の確認）	
事後学習	・授業内容を振り返る	1時間
成績評価の方法	授業内で確認テストおよびレポート試験を実施し、平常点と合算して成績評価を行います。A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とします。平常点と試験（確認テスト&記述式のレポート）の比率は、2：8。	
教科書	『キャリアデザインノート』および『工学院大学 学園の歩み』（125年史資料編編纂・学園史教材作成委員会編）を授業時に無償で配布します。	
参考書	特になし。	
オフィスアワー	授業後の教室にて。 （または「nikami@cc.kogakuin.ac.jp」宛に連絡ください）	
受講生へのメッセージ	工学院大学に様々な思い（期待や不安など）をもって入学してきたと思います。 工学院大学のこと、大学生活のことを知り、今後の工学院大学での大学生活をより楽しく、充実したものにしてください。 そして、卒業後、工学院大生であることの自信と誇りを持てる、そのような一歩を踏み出せるきっかけになることを期待します。	
実務家担当科目	実務家担当科目	
実務経験の内容	情報通信企業の情報セキュリティに関する研究部門・実務部門の経験がある教員が、情報セキュリティ対策立案の経験を活かし、情報セキュリティの概要について講義する。	
教職課程認定該当学科	該当なし	

開講年度	2021年度	開講学期	1Q
科目名	工学院大スタディーズ	授業種別	講義
科目名 (英語)	Start-up Seminar at KogakuinUniversity		
授業コード・クラス名	A1100298 工学院大スタディーズ [対面+]		
担当教員	二上 武生、林 真理、尾高 進、影井 良貴		
単位数	1.0単位	曜日時限	月曜4限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	1N-338講義室

学位授与の方針	1 基礎知識の修得 10% 2 専門分野の知識・専門技術の修得 0% 3 汎用的問題解決力の修得 30% 4 道徳的態度と社会性の修得 60%
具体的な到達目標	1. 工学院大学生としての誇りを持ち、責任を自覚できるようになる。 2. 人の文章の盗用 (コピペ) など、不正にくみしないモラルを身につける。 3. 工学院大学の歴史や理念を通して、広い視野と知識を獲得する。 4. 将来社会で活躍するためにはいま何が必要なのか、大学生活をどのように過ごすか、自らを省みる。
受講にあたっての前提条件	工学院大学で学ぶ意志のあること。決められたクラスで受講すること。
授業の方法とねらい	<p><授業のねらい></p> <p>工学院大生として、工学院大学のこと、大学生活のことを知り、自分のことを知って、これからの大学生活について考える。</p> <p>工学院大学はどのような大学であり、どのようなことを学べるのか、そして大学側は学生たちに何を期待しているのか、大学生活を過ごすうえで必要なことは何かを理解し、大学で何を学び、大学生活をとおして自分がどうなりたいかを考えるきっかけとする。</p> <p>また、授業をとおして工学院大学の建学の精神 (「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」) とはどのようなことを考える。</p> <p>そして超スマート社会「Society 5.0」を見据えて、将来の自分のキャリアイメージを鮮明にする。</p> <p><授業の方法></p> <p>本授業は今後のDX (Digital Transformation) 時代をにらみ、BYOD (Bring Your Own Device) を活用した教育手法を積極的にとり入れた授業です。</p> <p>具体的には「対面コミュニケーション」の他に「オンラインによるコミュニケーション」、オンラインコミュニケーションにおいて「オンライン掲示板機能による意見共有」等、様々なコミュニケーション形態を体験してもらいます。対面授業の中でも、ノートPC、スマートフォン等の情報端末を用いてオンライン操作を行う場合があります。</p> <p>履修者をAグループとBグループに分け、対面授業とオンライン授業をあわせたブレンド型授業を実施します。</p> <p>-----</p> <p>第1回授業については以下資料を確認してください。 https://drive.google.com/file/d/19RVUqRhom1xoy3lCln18NXt0ViWTx_we/view?usp=sharing -----</p> <p>※授業内容のテーマややり方は変更する場合があります。詳しくは授業の中で説明します。</p>
AL・ICT活用	反転授業／クリッカー・タブレット等ICTを活用した双方向授業／e-ラーニング等ICTを活用した自主学習支援

第1回		
事前学習	・シラバスをよく読む	0.5時間
授業内容	遠隔／【授業ガイダンス】授業の説明 学長メッセージ「超スマート社会「Society 5.0」を生きる君たちへ」(仮題)を紹介する。 「キャリアデザインノート」「工学院大学 学園の歩み」を配布し、授業の目的や「キャリアプランニング」について説明する。	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第2回		
授業内容	対面or遠隔／【工学院大学の理解】特別講義 工学院大学卒業生による特別講義を予定。	

事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「工学院大学 学園の歩み」を読む	1時間
第3回		
授業内容	遠隔／【工学院大学の理解】工学院の歴史	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・情報セキュリティ事前学習教材を視聴する	1.5時間
第4回		
授業内容	対面／【アカデミックマナーの理解】情報セキュリティ	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第5回		
授業内容	遠隔／【アカデミックマナーの理解】研究倫理	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「キャリアプラン」を考える	1時間
第6回		
授業内容	対面／【自己理解】キャリアプランニング	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・汎用的問題解決力アセスメント結果の確認と解説教材を視聴する	1.5時間
第7回		
授業内容	対面／【自己理解】汎用的問題解決力の自己確認（アセスメント結果の確認）	
事後学習	・授業内容を振り返る	1時間
成績評価の方法	授業内で確認テストおよびレポート試験を実施し、平常点と合算して成績評価を行います。A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とします。平常点と試験（確認テスト&記述式のレポート）の比率は、2：8。	
教科書	『キャリアデザインノート』および『工学院大学 学園の歩み』（125年史資料編編纂・学園史教材作成委員会編）を授業時に無償で配布します。	
参考書	特になし。	
オフィスアワー	授業後の教室にて。 （または「nikami@cc.kogakuin.ac.jp」宛に連絡ください）	
受講生へのメッセージ	工学院大学に様々な思い（期待や不安など）をもって入学してきたと思います。工学院大学のこと、大学生活のことを知り、今後の工学院大学での大学生活をより楽しく、充実したものにしてください。そして、卒業後、工学院大生であることの自信と誇りを持てる、そのような一歩を踏み出せるきっかけになることを期待します。	
実務家担当科目	実務家担当科目	
実務経験の内容	情報通信企業の情報セキュリティに関する研究部門・実務部門の経験がある教員が、情報セキュリティ対策立案の経験を活かし、情報セキュリティの概要について講義する。	
教職課程認定該当学科	該当なし	

開講年度	2021年度	開講学期	1Q
科目名	工学院大スタディーズ	授業種別	講義
科目名 (英語)	Start-up Seminar at Kogakuin University		
授業コード・クラス名	A1100299 工学院大スタディーズ [対面+]		
担当教員	二上 武生、林 真理、尾高 進、影井 良貴		
単位数	1.0単位	曜日時限	火曜1限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	1N-338講義室

学位授与の方針	<p>1 基礎知識の修得 10%</p> <p>2 専門分野の知識・専門技術の修得 0%</p> <p>3 汎用的問題解決力の修得 30%</p> <p>4 道徳的態度と社会性の修得 60%</p>
具体的な到達目標	<p>1. 工学院大学生としての誇りを持ち、責任を自覚できるようになる。</p> <p>2. 人の文章の盗用（コピペ）など、不正にくみしないモラルを身につける。</p> <p>3. 工学院大学の歴史や理念を通して、広い視野と知識を獲得する。</p> <p>4. 将来社会で活躍するためにはいま何が必要なのか、大学生活をどのように過ごすか、自らを省みる。</p>
受講にあたっての前提条件	工学院大学で学ぶ意志のあること。決められたクラスで受講すること。
授業の方法とねらい	<p><授業のねらい></p> <p>工学院大生として、工学院大学のこと、大学生活のことを知り、自分のことを知って、これからの大学生活について考える。</p> <p>工学院大学はどのような大学であり、どのようなことを学べるのか、そして大学側は学生たちに何を期待しているのか、大学生活を過ごすうえで必要なことは何かを理解し、大学で何を学び、大学生活をとおして自分がどうなりたいかを考えるきっかけとする。</p> <p>また、授業をとおして工学院大学の建学の精神（「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」）とはどのようなことを考える。</p> <p>そして超スマート社会「Society 5.0」を見据えて、将来の自分のキャリアイメージを鮮明にする。</p> <p><授業の方法></p> <p>本授業は今後のDX（Digital Transformation）時代をにらみ、BYOD（Bring Your Own Device）を活用した教育手法を積極的にとり入れた授業です。</p> <p>具体的には「対面コミュニケーション」の他に「オンラインによるコミュニケーション」、オンラインコミュニケーションにおいて「オンライン掲示板機能による意見共有」等、様々なコミュニケーション形態を体験してもらいます。</p> <p>対面授業の中でも、ノートPC、スマートフォン等の情報端末を用いてオンライン操作を行う場合があります。</p> <p>履修者をAグループとBグループに分け、対面授業とオンライン授業をあわせたブレンド型授業を実施します。</p> <p>-----</p> <p>第1回授業については以下資料を確認してください。 https://drive.google.com/file/d/19RVUqRhom1xoy3lCln18NXt0ViWTx_we/view?usp=sharing -----</p> <p>※授業内容のテーマややり方は変更する場合があります。詳しくは授業の中で説明します。</p>
AL・ICT活用	反転授業／クリッカー・タブレット等ICTを活用した双方向授業／e-ラーニング等ICTを活用した自主学習支援

第1回		
事前学習	・シラバスをよく読む	0.5時間
授業内容	<p>遠隔／【授業ガイダンス】授業の説明 学長メッセージ「超スマート社会「Society 5.0」を生きる君たちへ」（仮題）を紹介する。 「キャリアデザインノート」「工学院大学 学園の歩み」を配布し、授業の目的や「キャリアプランニング」について説明する。</p>	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第2回		
授業内容	<p>対面or遠隔／【工学院大学の理解】特別講義 工学院大学卒業生による特別講義を予定。</p>	

事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「工学院大学 学園の歩み」を読む	1時間
第3回		
授業内容	遠隔／【工学院大学の理解】工学院の歴史	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・情報セキュリティ事前学習教材を視聴する	1.5時間
第4回		
授業内容	対面／【アカデミックマナーの理解】情報セキュリティ	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第5回		
授業内容	遠隔／【アカデミックマナーの理解】研究倫理	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「キャリアプラン」を考える	1時間
第6回		
授業内容	対面／【自己理解】キャリアプランニング	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・汎用的問題解決力アセスメント結果の確認と解説教材を視聴する	1.5時間
第7回		
授業内容	対面／【自己理解】汎用的問題解決力の自己確認（アセスメント結果の確認）	
事後学習	・授業内容を振り返る	1時間
成績評価の方法	授業内で確認テストおよびレポート試験を実施し、平常点と合算して成績評価を行います。A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とします。平常点と試験（確認テスト&記述式のレポート）の比率は、2：8。	
教科書	『キャリアデザインノート』および『工学院大学 学園の歩み』（125年史資料編編纂・学園史教材作成委員会編）を授業時に無償で配布します。	
参考書	特になし。	
オフィスアワー	授業後の教室にて。 （または「nikami@cc.kogakuin.ac.jp」宛に連絡ください）	
受講生へのメッセージ	工学院大学に様々な思い（期待や不安など）をもって入学してきたと思います。 工学院大学のこと、大学生活のことを知り、今後の工学院大学での大学生活をより楽しく、充実したものにしてください。 そして、卒業後、工学院大生であることの自信と誇りを持てる、そのような一歩を踏み出せるきっかけになることを期待します。	
実務家担当科目	実務家担当科目	
実務経験の内容	情報通信企業の情報セキュリティに関する研究部門・実務部門の経験がある教員が、情報セキュリティ対策立案の経験を活かし、情報セキュリティの概要について講義する。	
教職課程認定該当学科	該当なし	

開講年度	2021年度	開講学期	1Q
科目名	工学院大スタディーズ	授業種別	講義
科目名 (英語)	Start-up Seminar at KogakuinUniversity		
授業コード・クラス名	A1100300 工学院大スタディーズ [対面+]		
担当教員	二上 武生、林 真理、尾高 進、影井 良貴		
単位数	1.0単位	曜日時限	火曜2限
キャンパス	八王子キャンパス	教室	1N-338講義室

学位授与の方針	1 基礎知識の修得 10% 2 専門分野の知識・専門技術の修得 0% 3 汎用的問題解決力の修得 30% 4 道徳的態度と社会性の修得 60%
具体的な到達目標	1. 工学院大学生としての誇りを持ち、責任を自覚できるようになる。 2. 人の文章の盗用 (コピペ) など、不正にくみしないモラルを身につける。 3. 工学院大学の歴史や理念を通して、広い視野と知識を獲得する。 4. 将来社会で活躍するためにはいま何が必要なのか、大学生活をどのように過ごすか、自らを省みる。
受講にあたっての前提条件	工学院大学で学ぶ意志のあること。決められたクラスで受講すること。
授業の方法とねらい	<p><授業のねらい></p> <p>工学院大生として、工学院大学のこと、大学生活のことを知り、自分のことを知って、これからの大学生活について考える。</p> <p>工学院大学はどのような大学であり、どのようなことを学べるのか、そして大学側は学生たちに何を期待しているのか、大学生活を過ごすうえで必要なことは何かを理解し、大学で何を学び、大学生活をとおして自分がどうなりたいかを考えるきっかけとする。</p> <p>また、授業をとおして工学院大学の建学の精神 (「社会・産業と最先端の学問を幅広くつなぐ『工』の精神」) とはどのようなことを考える。</p> <p>そして超スマート社会「Society 5.0」を見据えて、将来の自分のキャリアイメージを鮮明にする。</p> <p><授業の方法></p> <p>本授業は今後のDX (Digital Transformation) 時代をにらみ、BYOD (Bring Your Own Device) を活用した教育手法を積極的にとりいれた授業です。</p> <p>具体的には「対面コミュニケーション」の他に「オンラインによるコミュニケーション」、オンラインコミュニケーションにおいて「オンライン掲示板機能による意見共有」等、様々なコミュニケーション形態を体験してもらいます。</p> <p>対面授業の中でも、ノートPC、スマートフォン等の情報端末を用いてオンライン操作を行う場合があります。</p> <p>履修者をAグループとBグループに分け、対面授業とオンライン授業をあわせたブレンド型授業を実施します。</p> <p>-----</p> <p>第1回授業については以下資料を確認してください。 https://drive.google.com/file/d/19RVUqRhom1xoy3lCln18NXt0ViWTx_we/view?usp=sharing -----</p> <p>※授業内容のテーマややり方は変更する場合があります。詳しくは授業の中で説明します。</p>
AL・ICT活用	反転授業／クリッカー・タブレット等ICTを活用した双方向授業／e-ラーニング等ICTを活用した自主学習支援

第1回		
事前学習	・シラバスをよく読む	0.5時間
授業内容	遠隔／【授業ガイダンス】授業の説明 学長メッセージ「超スマート社会「Society 5.0」を生きる君たちへ」(仮題)を紹介する。 「キャリアデザインノート」「工学院大学 学園の歩み」を配布し、授業の目的や「キャリアプランニング」について説明する。	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第2回		
授業内容	対面or遠隔／【工学院大学の理解】特別講義 工学院大学卒業生による特別講義を予定。	

事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「工学院大学 学園の歩み」を読む	1時間
第3回		
授業内容	遠隔／【工学院大学の理解】工学院の歴史	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・情報セキュリティ事前学習教材を視聴する	1.5時間
第4回		
授業内容	対面／【アカデミックマナーの理解】情報セキュリティ	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る	0.5時間
第5回		
授業内容	遠隔／【アカデミックマナーの理解】研究倫理	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・「キャリアプラン」を考える	1時間
第6回		
授業内容	対面／【自己理解】キャリアプランニング	
事後学習・事前学習	・授業内容を振り返る ・汎用的問題解決力アセスメント結果の確認と解説教材を視聴する	1.5時間
第7回		
授業内容	対面／【自己理解】汎用的問題解決力の自己確認（アセスメント結果の確認）	
事後学習	・授業内容を振り返る	1時間
成績評価の方法	授業内で確認テストおよびレポート試験を実施し、平常点と合算して成績評価を行います。A+～Fの6段階評価でD以上の者を合格とします。平常点と試験（確認テスト&記述式のレポート）の比率は、2：8。	
教科書	『キャリアデザインノート』および『工学院大学 学園の歩み』（125年史資料編編纂・学園史教材作成委員会編）を授業時に無償で配布します。	
参考書	特になし。	
オフィスアワー	授業後の教室にて。 （または「nikami@cc.kogakuin.ac.jp」宛に連絡ください）	
受講生へのメッセージ	工学院大学に様々な思い（期待や不安など）をもって入学してきたと思います。工学院大学のこと、大学生活のことを知り、今後の工学院大学での大学生活をより楽しく、充実したものにしてください。そして、卒業後、工学院大生であることの自信と誇りを持てる、そのような一歩を踏み出せるきっかけになることを期待します。	
実務家担当科目	実務家担当科目	
実務経験の内容	情報通信企業の情報セキュリティに関する研究部門・実務部門の経験がある教員が、情報セキュリティ対策立案の経験を活かし、情報セキュリティの概要について講義する。	
教職課程認定該当学科	該当なし	